

薬事情報センターに寄せられた県民・医療従事者からの相談事例
(2015年5月)

【相互作用防止】

Q: レンドルミンTM、ワルファリンTM、カルブロックTM、マグミットTM、オブランゼTMを服用中。
健康食品の魚油（EPA・DHA）、ビタミンCを摂っているが大丈夫か？（県民）

A: 魚油（EPA・DHA）は血小板凝集抑制作用があるので、ワルファリンTMの作用が増強し、出血傾向になる可能性がある。ビタミンCの大量投与で、ワルファリンの効果が減弱したという報告がある。健康食品の摂取を、医師に伝える。

Q: アバプロTM、アムロジンTM、ワルファリン、プレタールTMOD、十二指腸潰瘍でパリエットTMを服用中。ルリッドTMとの、相互作用は？（歯科医師）

A: ルリッドTMとワルファリンで、ワルファリンの作用増強のおそれがあるので、併用注意。

Q: 酸化マグネシウム、ジアゼパム、ノイロトロピンTM、アムロジピン、ビタノイリンTM、アルファカルシドールを服用中。セフゾンTM、カロナールTMとの相互作用は？（歯科医師）

A: 酸化マグネシウムとセフゾンTMで、セフゾンTMの吸収が低下し、効果が減弱するおそれがあるので、2時間以上服用間隔をあける。

Q: テグレートールTMを服用中。アセトアミノフェン、クラリスTMとの相互作用は？（歯科医師）

A: テグレートールTMを長期連用の場合、アセトアミノフェンの作用減弱またはアセトアミノフェンの代謝物による肝障害の可能性があり、慎重投与。
クラリスTMは、薬物代謝酵素CYP3A4を阻害するため、テグレートールTMの血中濃度が上昇し、中毒症状が現れる可能性があり、慎重投与。

【適正使用】

Q: 薬箱に入っていたマーゲノールTM（50）は何の薬か？いつ処方されたか不明だが、利用できるなら利用したい。（県民）

A: マーゲノールTM（50）の成分はスルピリドで、胃・十二指腸潰瘍、うつ病などの治療薬である。以前もらった薬は使用しない。

Q: イソソルビドTMテープ40mgが処方され、上腕に貼付と指示されたが、それで良いか？（県民）

A: 胸部、上腹部、背部のいずれかに貼付する（臨床試験で有用性が認められた貼付部位は、胸部、上腹部、背部である）。皮膚の損傷又は湿疹・皮膚炎等がみられる部位には貼付せず、皮膚刺激を避けるため、毎回貼付部位を変える。

【妊婦・授乳婦】

Q：妊娠2ヶ月。ジェニナックTMが処方されたが、服用して良いか？医師には、妊娠を伝えていない。
(県民)

A：妊娠中の投与に関する安全性は確立しておらず、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には禁忌。他薬への変更を医師に相談する。

Q：サリパラTMコデインが処方された。授乳中だが、服用して良いか？(県民)

A：コデインは体内でモルヒネに変換され、母乳への移行により、乳児でモルヒネ中毒（傾眠、哺乳困難、呼吸困難等）が生じたとの報告がある。授乳中の婦人は、本剤投与中は授乳を避けた方が良いので、医師に相談する。

【重複投与防止】

Q：トラマールTMOD、ネキシウムTM（消化性潰瘍の治療中ではない）、アミティーザTM、レバミピド、ナウゼリンTM、ケタスTM、フオイパンTM、マグラックスTM、ツムラ大建中湯、リスミーTM、デパスTM、メイラックスTM、エバスチンTMOD、リリカTM、シナールTM、リカバリンTM、クラリスロマイシンを服用中。
セルベックスTM、ロキソニンTM、フロモックスTMとの相互作用は？(歯科医師)

A：いずれも作用が重複する。

レバミピドとセルベックスTMは、胃粘膜保護作用の同効薬である。

トラマールTMODとロキソニンTMは、作用機序は異なるが、鎮痛薬である。

クラリスロマイシンとフロモックスTMは、抗生剤で歯科での適応症は同じである。